



2019年6月15日発行
 公益財団法人仙台YMCA
 〒980-0822
 仙台市青葉区立町9-7
 Tel 022-222-7533
 Fax 022-222-2952
 www.sendai-ymca.org
 発行人/村井伸夫
 編集人/松島晃子

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



夏季 キャンプ

仙台YMCAでは、この夏も子どもたちの成長を願い、様々な教育キャンプを計画・実施いたします。気仙沼市大島や石巻市網地島で実施する海のキャンプや、花山などで実施する山のキャンプは例年通りですが、今夏は福島県で湖畔キャンプを行います。様々な場所でのキャンプはそれぞれ特色があります。また、1回行ったキャンプでも2回目、3回目とキャンプでの役割や感じ方に変化がでてきます。ぜひ、この夏にしか経験できないことを、キャンプを通して経験してください。特に福島での湖畔キャンプはテント泊にカナディアンカヌーも計画されています。新しいことにチャレンジしたい子どもたちはぜひ検討ください。



—子どもたちの生きる力を育む—

野外活動

定期的な野外活動では、月1回日帰りで年間を通じて季節に応じたプログラムを行います。自然というフィールドを通して、野外活動での体験が豊かに大きく花開くことを願っています。

仲間と関わりあう中で、一人ひとりが“自分”についても目をむけていきます。身の回りのことが一人でもできる、新しいことにチャレンジしてみる等の取り組みを通して、自立心を育て自信をつけていきます。活動については基本的にグループ単位で、「ボランティアリーダー」と共に活動を行っています。「ボランティアリーダー」は、主に18歳以上の学生で、YMCAの活動のために多くの研修を受け、事前の準備を重ねていきます。“ボランティアをする側”と“される側”という関係を越え、子どももリーダーも共に成長していく活動、それが長年にわたるYMCAの青少年活動の特徴です。そのリーダーたちと自然体験活動を通して、毎月の活動で子どもたちとの関わりが変化し、リーダーと子どもたちとの信頼関係も変化していきます。子どもたちの発言や行動も変化してきます。時には意見が合わず衝突したり、失敗したりすることもあります。それも子どもたちの成長にとって大切な体験です。YMCAのキャンプ（野外活動）は、子どもたちの生きる力を育みます。多くの子どもたちがこの夏のキャンプや野外活動に参加しリーダーたちとともに子どもたちの成長に関われることを楽しみにしております。



(健康教育事業部 / 黒田 敦)

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広がります。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に伝えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かたたくましい人間に育つよう支援します。

— Y M C A キャンプ 100 周年に向けて —

子どもたちが自然の中で出会う感情や体験は、やがて生きていくうえで必要な知識や知恵を生み出します。Y M C A 野外活動は、グループワークや体験学習の手法を用いながら、民主主義教育、価値教育、安全教育、環境教育、グローバル教育など総合的な教育要素を視野に入れ、体験を通して全人格的成長を行う場として展開をしています。

また、Y M C A キャンプは、子どもたちが生命（いのち）を尊重し、お互い信頼し合うことを学び、精神、知性、身体の「全人的な成長の場」となることを期待し、以下の7つの目的を掲げています。

1. 自然生活を楽しみ、自然に適応する能力を身につける
2. 良い習慣を育て実践する
3. 健康のための知識を得て、自分の身体を守る方法を知る
4. 生活を豊かにする技術を学び、創造力を育む
5. 良き友人を作る方法を学び、互いの存在と生命を尊重する心を育む
6. 民主的なグループ経験から、社会に関わる責任感を育む
7. 神の恵みを知り、感謝の気持ちを養う



1920 年、兵庫県六甲山麓で日本における最初のキャンプが行われました。大阪 Y M C A が少年たちのために試みた、松林の中での 2 週間の簡易天幕生活キャンプで、この活動はまたたくまに全国に広がりました。現在では年間を通じておよそ 22,000 人の子どもたちが全国各地で Y M C A キャンプを体験しています。仙台 Y M C A では、1924 年（大正 12 年）に塩釜市浦戸諸島の桂島で実施したキャンプがスタートとなりました。2020 年、Y M C A はキャンプ 100 年を迎えます。また、日本で 2 回目の東京オリンピックも開催されます。2020 年は日本にとっても Y M C A キャンプにとっても大きな年となります。

（健康教育事業部 / 黒田敦）

Column

— 石巻広域ワイズメンズクラブ —



写真：生涯発達支援塾 TANE の様子

『障害のある人もない人も、楽しく生きる』

生涯発達支援塾 TANE 代表 櫻井育子さん（石巻広域ワイズメンズクラブ）

「障害のある人もない人も、楽しく生きる」ということをライフワークとして、様々な取り組みをしています。その中のひとつが「書道塾 TANE」です。冬季期間中に、石巻 Y M C A センターを使わせていただきました。

障害のある子どもたちが青年になり、「職場（施設）」と「家」との往復だけではあまりにも日々の楽しみが足りなすぎること、保護者の方々が子育てを少し離れてホッと自分の時間をもつことができるようになったことが重なり、なにか「習い事」の場が欲しいということで立ち上がりました。私自身も書道の自由さを感じ、いつか多様なメンバーとともに書道をしたいと思っていました。現在は、保護者、障害のある青年や子どもたちのほか、一般の方々もふらりと立ち寄って、自分なりの表現を楽しんでいます。この「混ざり合う空間」が欲しくて様々な活動をしてまいりました。そしていま、当たり前のようにたくさんの人が関わっているのを見ると、とても嬉しくなります。

自由でのびのびとした絵のような書道に触れ、その美しさと自由度の高さをできるかぎりたくさんの方に味わってもらえたらと思います。子どもたちにはさらに、既成概念を外し、「自分らしく生きる」ように表現して欲しいと感じています。



写真左：川名このかさん

『Y M C A に感謝』

ひかり組 / 川名このかさん、母・まゆみさん

私が Y M C A に出会ったのは、2005 年の春でした。息子が 3 歳の時に、仙台市に新しい認可保育園が出来ると言う話を聞いて、初めは、「近いし建物も綺麗な保育園に通わせたいな。」くらいの軽い気持ちで申し込みをしました。入園後、毎日の保育の中で少しずつ Y M C A の理念や先生方の穏やかで暖かい保育に触れ、とても良い保育園に入園できたのだと感じました。親の私自身も、先生方の保育の心意気を見て、感じて、自分の子育てのお手本にしてきました。息子は小学 1 年生から Y M C A のサッカークラブにも所属し、サッカーを通してスポーツマンシップ、相手や仲間を思う気持ちを養って頂きました。よく「三つ子の魂百まで」と言いますが、今 17 歳となった息子が、穏やかで、人の気持ちを大切にできる人間に育ってくれたのは、Y M C A の先生方、リーダーの皆様のお陰だと思っています。現在、12 歳離れて産まれた妹が、同じ保育園に通っています。Y M C A の素晴らしさを娘にも感じて欲しくて、兄の様に穏やかで、人の気持ちが分かる人になって欲しくて入園を決めました。毎日たくさんのお友達に囲まれ、楽しかった！と笑顔で帰って来る娘を見ると、やはり Y M C A 保育園に入園し本当に良かったと感じています。これからも Y M C A のスタッフ皆様のご活躍と 1 人でも多くの子供達の笑顔を願っています。

ボランティア
Volunteer『トミザワイレブンの
活動を通して』

富沢児童館（富沢中学校 1 年） / 嶺岸 響さん



トミザワイレブンに入ってよかったことは、活動を通して、児童館の子ども達のお世話や、リーダーの手伝いをがんばってやり、活動が終わると達成感が得られることです。

また地球探検隊という活動では、電車やバス、船などを使い、普段なかなか行く事が出来ない島などの遠い所に行く事が出来ます。そこでは、自分たちで「かまど」をつくり、火を起こして、おいしいごはんを作ったり、夏は川遊び、冬は雪遊びと充実していて、とても楽しいです。そして、バザーで職業体験のようなことができたり、困っている人々達のために募金活動をしたり、人のために役立つような事もでき、とても良い経験になりました。

イレブンになってとてもうれしいことがありました。それは昔、まったくいう事も聞かず、あちこち行っていた子が、今となってはみんなをまとめることができるようになっていて成長を感じられ、とてもうれしかったです。今後も、イレブンの活動に参加し、児童館の子どもたちの手本になれるようがんばります。

※「トミザワイレブン」 富沢児童館で活動する小学校高学年・中高校生のボランティアグループ

ぜひ会員として、仙台YMCAの活動をお支えください。

一般会員・サポート会員を
随時募集中です

お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952

第25回

仙台YMCA

インターナショナルチャリティーラン

2019年9月23日(月・祝)

場所：東北学院大学泉キャンパス

『満足して過ごす』

1歳児ももぐみは、新入園児9名を迎え、計17名で新年度をスタートしました。新しい環境に、戸惑い、不安から泣いていた子どもたち。新入園児は、保護者の方と丁寧に慣らし保育を進めることで、今では笑顔も見られ、好きな遊びを見つけて過ごすことも増えてきました。5月14日のももぐみ懇談会には、沢山の保護者の方に参加していただきました。グループ懇談では、イヤイヤ期や子育て・仕事・家事の両立の難しさについての悩みや疑問、情報交換など次々に話があふれ出て、とても充実した時間となりました。1歳児は「満足して過ごす」が年間目標です。

自我が芽生える大切な時期、満足感、心地よさを感じられるように、一人ひとりの子どもをありのまま受けとめることが大切です。保護者の方と同じ目線で子どもを見守り、共に成長を喜ぶ一年にしていきます。
(西中田保育園:山田 彩子)



(仮称)YMCA長町保育園新築起工式

5月24日(金)(仮称)YMCA長町保育園の新築起工式が、建設予定地で行われました。当日は、雲一つない青空が広がり、株式会社アール・アイ・エー様、株式会社阿部和工務店様、連合町内会長様、長町西町町内会長様、隣接するきらやか銀行様、YMCAから村井総主事はじめ役職員が参加し、日本ナザレン教団富沢教会阿部頌栄牧師司式のもと厳かにすすめられ、参加者全員で工事の安全と無事を祈りました。(仮称)YMCA長町保育園は、「仙台市根岸保育所長町分園」の老朽化に伴う民営化により仙台市が運営設置法人を募集し、社会福祉法人仙台YMCA福祉会が選定されたものです。



2020年4月1日開園に向け、地域に愛される保育園を目指し、準備を進めてまいります。

(南大野田保育園 / 布宮 圭子)

維持会費

皆様のお支えに心より感謝申し上げます (5月1日～5月31日)

◆一般会員

・維持会員 A会員/10,000円、B会員/20,000円、C会員/30,000円

A会員 佐藤悦子さん 松田美彰さん 村田洋子さん 油谷重雄さん 児玉由子さん
野村宏さん 加納実さん

B会員 光永尚生さん

C会員 阿部靖さん 工藤正剛さん